



NEWS RELEASE

2025年11月26日

BGG Japan 株式会社

ApplePhenon®(未熟りんご由来のリンゴポリフェノール)

便秘気味の健常者の排便頻度が増加することを確認

当社製品「ApplePhenon®」を用いた臨床試験において、肥満気味で便秘症状のある健康な日本人成人を対象に排便頻度に及ぼす影響を評価した結果、プラセボ摂取群と比較して排便頻度を増加させることを確認致しました。

本臨床試験の結果は国際学術誌『Journal of Dietary Supplements』に掲載されました。

Apple Polyphenols and Defecation in Overweight Adults with Constipation – A Randomized Controlled Trial

Journal of Dietary Supplements

<https://doi.org/10.1080/19390211.2025.2539878>

このApplePhenon®の新たな研究成果をもとに、今後は機能性表示食品としての届出にも取り組んでいく予定です。

今後も弊社は、高機能・高品質の素材開発を進め、より価値の高い機能性素材を提供し続けて参ります。

試験概要

- ・対象者：BMIが $25\text{kg}/\text{m}^2$ 以上 $30\text{kg}/\text{m}^2$ 未満で便秘症状のある健常な日本人成人男女
- ・試験デザイン：ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験
- ・摂取方法：リンゴポリフェノール 600 mg/日(リンゴ由来プロシアニジン 110 mg/日)含有したカプセルを試験食群、含有しないカプセルをプラセボ群として摂取
- ・主要評価項目：週ごとの排便頻度
- ・副次評価項目：排便日数、排便量と排便感、便の形状と臭い、便中の *Akkermansia muciniphila* 数、身体測定値、体組成、血中脂質プロファイル
- ・摂取期間：12週間

結果

本研究の結果から、リンゴポリフェノール群の排便頻度はプラセボ群と比較して有意に増加することが示されました。一方で、便中の *A. muciniphila* 数、身体測定値、体組成の変化は認められませんでした。

以上